

令和9（2027）年度

次世代研究者発掘入試 I

（総合型選抜 I）

入学者選抜概要

工学部（材料工学科／化学工学科／融合基礎工学科／
地球資源システム工学科）・農学部

※本冊子は、概要版になります。

詳細等必ず学生募集要項（7月中旬頃公開予定）
で確認してください。



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

目 次

次世代博士人材育成コースについて	1
入試日程等	3
工学部	
1. アドミッション・ポリシー	4
2. 出願資格及び出願要件	4
3. 募 集 人 員	6
4. 入学者選抜方法	6
5. 研究コース分野	7
6. 提出が必要な出願書類等	7
7. 入学準備	8
農学部	
1. アドミッション・ポリシー	9
2. 出願資格及び出願要件	10
3. 募 集 人 員	11
4. 入学者選抜方法	11
5. 研究コース分野	12
6. 提出が必要な出願書類等	12
7. 入学準備	13

添 付 書 類

提出書類サンプル（志望理由書・活動歴報告書・出願要件証明書）

※サンプル様式ですので、実際に出願する場合には、7月中旬に公開予定の募集要項添付の最新の様式を利用してください。

次世代博士人材育成コースについて

1. 次世代博士人材育成コースの概要

日本では、諸外国に比べ博士の学位を有する高度な専門人材が少ないことが、研究力やイノベーション力の低下、さらには国際競争力の低下の原因とされています。この問題を解決するために、九州大学未来人材育成機構は、2027年4月に「次世代博士人材育成コース」を新たに設置します。「次世代博士人材育成コース」では、高校生段階から博士課程修了までの一貫した学びと手厚いサポートにより、我が国の科学技術イノベーションの創出を担う博士人材の育成を目指します。

※本コースは、学部入学後、修士課程を経て博士後期課程まで進学することを前提としたコースであり、その趣旨を理解した者のみが受験できます。

また、修士課程及び博士後期課程への入学・進学に際しては別途、大学院入試に合格する必要があります。

2. 次世代博士人材育成コースの特徴

(1) 高校生段階から博士課程修了までの一貫した学び

通常の学生は、学部3・4年次の研究室配属後に、本格的な研究活動を開始しますが、次世代博士人材育成コースのコース生は、入学後すぐに研究インターンシップ・研究室配属が開始されますので、早期に研究活動に従事することができます(但しコース生の所属する学部・学科の研究室に限る)。これにより、研究へのモチベーションを維持したまま、博士課程修了まで研究活動に取り組むことができます。

(2) 成長の可能性を広げる柔軟なカリキュラム

「次世代博士人材育成コース」では、専攻教育科目の先取り履修、入学前教育や英語外部試験のスコアによる単位認定などの制度を設置予定です。これらの制度を活用して空いた時間を使って、研究活動にさらに邁進したり、副専攻プログラムの受講により広く教養を深めたりすることができます。

さらに、各学府が定める修了要件を満たした上で、優秀な成績を修得した場合は、早期修了が認められる場合があります。

(3) 若手研究者スクエアやセミナーで広がる研究の世界

「次世代博士人材育成コース」の在籍生や修了生を主要メンバーとするコミュニティである「若手研究者スクエア」では、所属や学年を超えた学生や大学院生同士の交流に加え、企業の方などとの交流が行われます。研究志向の高い仲間たちと意見交換することで、刺激を受け、新たな視点やアイデアを得ることに繋がります。

また、本学の中で、特に優れた研究業績を有し、研究をリードする主幹教授等によるセミナーを、コース生を対象に開催します。このセミナーを通して、社会の様々な分野で関わっている最先端の研究の歴史的背景から現在の研究状況、そして、研究の未来を知る機会を提供し、更なる研究意欲の向上を図ることができます。

(4) 手厚いサポート体制

博士課程学生を除くコース生に対して、年間 50 万円の奨学金を支給します(博士課程学生は別の支援制度あり)。

さらに、指導教員に加え、各学部・学科から選出されたメンターや未来人材育成機構教員が研究計画やキャリアパスについての指導・助言を行います。

3. 次世代博士人材育成コースのアドミッション・ポリシー

- (1) 当該分野の基盤となる基礎的な知識・理解を十分に有している。(知識・理解)
- (2) 自ら研究課題を設定し、国際的視野を持って論理的・持続的に科学研究活動を推進できる。(能力・意欲)
- (3) 自立した学問的探究心と高い知的好奇心を持ち、アクティブ・ラーナーとしてコースで学び続ける姿勢を持っている。(態度・志向性)
- (4) 当該分野の発展に向けて、他分野の知識も学ぼうとする意欲を持っている。(態度・志向性)

4. 次世代研究者発掘入試を実施する学部・学科

(1) 次世代研究者発掘入試Ⅰ(大学入学共通テストを課さない)

- ・工学部(材料工学科, 化学工学科, 融合基礎工学科, 地球資源システム工学科)
- ・農学部

(2) 次世代研究者発掘入試Ⅱ(大学入学共通テストを課す)

- ・工学部(電気情報工学科, 材料工学科, 応用化学科, 化学工学科, 融合基礎工学科, 地球資源システム工学科)
- ・農学部

※次世代研究者発掘入試Ⅱ(総合型選抜Ⅱ)の出願を希望する者は、別途、次世代研究者発掘入試Ⅱ(総合型選抜Ⅱ)の募集要項を参照のうえ、出願してください。

なお、次世代研究者発掘入試Ⅰに出願した場合、本学の実施する総合型選抜(次世代研究者発掘入試Ⅱを含む)、学校推薦型選抜、国際入試(教育学部)への出願はできませんのでご注意ください。

次世代博士人材育成コースのカリキュラムは、今後変更される場合があります。

詳細につきましては、九州大学次世代博士人材育成コースのホームページでご確認ください。

(次世代博士人材育成コース)

<https://nextphd.mirai.kyushu-u.ac.jp/>

入 試 日 程 等

	次世代研究者発掘入試 I (総合型選抜 I)	
	工 学 部 材料工学科 化学工学科 融合基礎工学科 地球資源システム工学科	農 学 部
願 書 受 付	令和 8 (2026) 年 9 月 1 日 (火) ~ 9 月 4 日 (金)	
第 1 次 選 抜	2026 年 9 月中旬 ~ 10 月上旬	
第 1 次 選 抜 結 果 の 発 送	10 月 9 日 (金) 頃	
受 験 者 の 受 験 票 の 印 刷	10 月 14 日 (水) 頃	
第 2 次 選 抜	10 月 24 日 (土)	
合 格 者 発 表	11 月 25 日 (水) 11 時頃	
入 学 手 続	令和 8 (2026) 年 12 月 7 日 (月) ~ 12 月 11 日 (金) (入学料の納付(web 手続))	
入学料の納付以外の手続き	令和 9 (2027) 年 2 月 10 日 (水) 頃 入学料の納付以外の学生生活手続書類送付	
	令和 9 (2027) 年 2 月 11 日 (木) ~ 2 月 17 日 (水) 入学料の納付以外の学生生活手続及び web 入力	

工 学 部

1. アドミッション・ポリシー

工学部のアドミッション・ポリシー

高等学校等までに学習した国語、英語、数学、理科、社会、情報の学力を有したうえで、物理学や化学など自然科学の原理と法則を理解し、幅広い教養と倫理観および国際的視野を併せ持って文明の持続的発展を支える「ものづくり」を先導する技術者、研究者として成長したいという強い意欲と適性を持った者を求めます。

これらに加え、各学科（コース）で総合型選抜において求める人材（アドミッション・ポリシー）を定めています。

○材料工学科のアドミッション・ポリシー

自然科学と材料工学に関する学問を深く学ぶために必要な基礎的能力を身に付ける努力をいとわず、それらに関連する仕事に携わりたいという希望や意欲を持ち、一定の教養と倫理観を身につけている者を求めます。

○化学工学科のアドミッション・ポリシー

環境・エネルギー、材料、バイオテクノロジー・先進医療などに関連する工学に興味をもち、学習する強い意欲と正しい倫理観をもって、将来的に地球環境との調和や人類の福祉に貢献したいと考える者を求めます。

○融合基礎工学科のアドミッション・ポリシー

基礎学力及び自分の考えを論理的に説明できる能力を備え、本学科・本コースに関連する学問を積極的に学ぶ意欲と自主性を有する者を求めます。

（物質材料コース）

特に、持続可能な社会の実現に資する物質・材料開発に興味をもち、高い倫理観とグローバルな視点を併せ持つ者を求めます。

（機械電気コース）

特に、数学、物理などの自然科学や機械工学・電気電子工学分野に対する強い知的探究心を持ち自ら学ぶ意欲のある者、専門知識の融合による多角的視点から、エネルギーや環境等の社会問題の解決に意欲のある者を求めます。

○地球資源システム工学科のアドミッション・ポリシー

国際的に展開される地下資源の開発と供給、国内外における自然災害の防止技術の開発や地球環境への負荷を軽減する諸技術の開発を担い、グローバルな視点から社会に貢献する問題発見と問題解決に取り組むことに意欲を有する者を求めます。

2. 出願資格及び出願要件

次の出願資格のいずれかに該当する者で、下記の出願要件を満たし、次世代研究者発掘入試を実施する本学工学部のいずれかの学科・コースを第1志望とする者

○出願資格

- ア) 高等学校若しくは中等教育学校を令和7年(2025)年4月以降に卒業した者及び令和9(2027)年3月までに卒業見込みの者

- イ) 通常の課程による 12 年の学校教育を令和 7 年 (2025) 年 4 月以降に修了した者及び令和 9 (2027) 年 3 月までに修了見込みの者
- ウ) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和 7 年 (2025) 年 4 月以降にこれに該当する者及び令和 9 (2027) 年 3 月までにこれに該当する見込みの者

○出願要件

ア) 高等学校又は中等教育学校等の高等学校に相当する期間において、以下の①～⑧に記載している項目に当てはまる顕著な活動実績を修めている者。(ただし、発表会やコンテスト等において、複数人で発表・研究した場合は、出願要件証明書に人数を記載してください。)

- ① サイエンスカンファレンス (高校の部) 発表
(グローバルサイエンスキャンパス (GSC) 全国受講生研究発表会の出場者)
- ② スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 生徒研究発表会 (文部科学省等主催) の出場者
- ③ 国際学生科学技術フェア (ISEF) の参加者
- ④ 日本学生科学賞の中央最終審査に進出者
- ⑤ 高校生・高専生科学技術チャレンジ (JSEC) 最終審査進出となった者
- ⑥ 国際科学オリンピック (数学オリンピック, 物理オリンピック, 化学オリンピック, 生物学オリンピック等) において、日本代表として世界大会に出場した者
- ⑦ 「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト (QFC-SP)」リサーチコース修了者 (修了見込みの者を含む)
- ⑧ 上記以外の自由研究や課題研究で①～⑦と同等の優れた発表を公的に証明できる者

※出願期間最終日 (令和 8 年 9 月 4 日) までに⑦以外の発表会等に出場しておらず、出願要件証明書を提出できない場合は、出願できません。

- イ) 本コース及び本学部・学科が掲げるアドミッション・ポリシーで求める学生像に一致する者。
- ウ) 志望学部・学科における修学に加え「次世代博士人材育成コース」で学び、博士課程へ進学する強い志がある者
- エ) 合格した場合に、必ず入学することを確約できる者

なお、出願資格及び出願要件について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係 (TEL : 092-802-2006) にお問い合わせください。

(注意)

- (1) 本選抜の趣旨から、本学の次世代研究者発掘入試, 総合型選抜, 学校推薦型選抜, 及び国際入試 (教育学部) との併願は認めません。
- (2) 本学部の次世代研究者発掘入試 (総合型選抜) に出願した場合でも、本学を含む国公立大学の一般選抜に出願することができます。

3. 募集人員

若干名（材料工学科／化学工学科／融合基礎工学科／地球資源システム工学科）

4. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。

(1) 第1次選抜

ア. 提出された調査書又は調査書に代わる書類、活動歴報告書・研究計画書及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。

イ. 第1次選抜の結果は、令和8年（2026）年10月9日（金）頃に郵便で発送します。

(2) 第2次選抜

ア. 選抜方法

- ・第1次選抜の合格者に対し、プレゼンテーション、その内容等に関する口頭試問の総合評価により選抜を行います。

- ・知識、理解、能力、態度、志向性等を評価します。

- ・試験時間は受験者1人につき30分です。

（プレゼンテーション10分程度、口頭試問20分程度）

イ. プレゼンテーション

- ・高大連携事業等の各種研究プログラムにおける研究実績を基にしたプレゼンテーションを行います。

プレゼンテーションは、出願時に提出した志望理由書および活動歴報告書・研究計画書を用いて行います。そのため、第2次選抜にあたり、プレゼンテーション資料を新たに作成する必要はありません（提出された志望理由書および活動歴報告書・研究計画書のコピー1部を試験会場でお渡しします）。

ウ. 口頭試問

- ・プレゼンテーション終了後、引き続き口頭試問を行います。

エ. 実施日時及び実施方法

期 日	時 間	実施方法
10月24日（土）	9：00～17：00頃	当日、各人に通知します。

- ・集合時刻及び集合場所は第1次選抜合格通知の際に指定します。合格者は受験票及び第1次選抜合格通知書を持参の上、指定された時刻に指定された場所に集合してください。

- ・試験時間中（9：00～17：00頃）は、各自の面接試験終了まで外出できませんので必ず昼食をご用意ください。

- ・遅刻による試験室への入室制限時刻は、予め定められた試験開始時刻から30分以内です。なお、交通機関の事故またはやむを得ない事由により遅刻した者は、試験監督者に申し出て下さい。

(3) 合否判定の基準

ア. 第1次選抜

提出された調査書又は調査書に代わる書類、活動歴報告書・研究計画書、志望理由書について、評価し、各評価を合わせて3段階（A・B・C）で総合評価します。

イ. 第2次選抜

プレゼンテーションと口頭試問を合わせて評価し、第1次選抜の評価を加えて3段階（ABC）で総合評価します。

5. 研究コース・分野

出願の際は、志望学科に加え、以下に記載されている研究分野またはコース名を選択してください。

- (1) 材料工学科（冶金物理化学分野，構造用金属科学分野，機能材料科学分野）
- (2) 化学工学科（バイオテクノロジー分野，環境・エネルギー分野，マテリアルデザイン分野）
- (3) 融合基礎工学科（物質材料コース，機械電気コース）
- (4) 地球資源システム工学科（応用地質学分野，物理探査学分野，地球熱システム学分野，資源開発工学分野，岩盤・開発機械システム工学分野，資源処理・環境修復工学分野，エネルギー資源工学分野）

※次世代博士人材育成コース (<https://nextphd.mirai.kyushu-u.ac.jp/>) に参画する指導教員リストが掲載されていますので、研究分野等を選択する際、ご参考にしてください。

6. 提出が必要な出願書類等

新型コロナウイルス感染症の影響により、学校での活動、大会や資格・検定試験等の結果を記載できない場合、その活動に関する努力のプロセスを記載してください。

ア. 調査書

在学又は出身学校長が文部科学省で定めた様式により当該年度に作成し、厳封したものを提出してください。なお、調査書を提出できない者については、次の書類を提出してください。

① 高等学校卒業程度認定試験合格者

合格成績証明書及び免除科目がある場合は学校長が発行した当該科目の成績証明書

② 出願資格に該当する者のうち上記①以外の者

修了（見込）証明書又は資格（取得見込）証明書及び成績証明書

また、本学において個別の入学資格審査を受けた者は、本学が交付した「九州大学受験資格認定書（写）」を添付してください。

上記書類を提出できない者は事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係へお問い合わせください。

イ. 活動歴報告書・研究計画書

高等学校在学中に取り組んだ研究活動や入学後に取り組みたい課題について、本学 Web サイト募集要項画面に掲載の様式に、自筆または PC 等で作成し、提出してください。

活動歴については、工学部の志望理由に関係のある事項に限定して記載してください。

ウ. 志望理由書

所定の様式に、志願者本人が自らの考えを基に作成し、自筆で作成したものを提出してください。

エ. 出願要件証明書 (既卒生も含む)

出身学校長または記載責任者が、所定の様式に、自筆または PC 等で作成し、提出してください。

※5 ページ記載の 2. 出願資格及び出願要件のとおり、出願期間最終日 (令和 8 年 9 月 4 日) までに⑦以外の発表会等に出場しておらず、出願要件証明書を提出できない場合は、出願できません。

* 各様式は、本学 Web サイトの「入試・入学」→「学部入試」→「大学案内・入学者選抜概要・募集要項」からダウンロードしてください。必ず当該年度の様式を使用してください。

* 志望理由書は、必ず志願者本人が自筆にて作成してください。志願者以外の者 (生成系 AI ツールを含む) により作成したことが認められる場合や剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学許可を取り消すことがあります。

* 提出された書類の返却には応じませんので、ご注意ください。

7. 入学準備

本学部の次世代研究者発掘入試 I (総合型選抜 I) に合格した者には、入学までの期間の勉強の仕方や心構え等準備いただきたい内容をまとめた「入学までの心構え」をお送りします。この「入学までの心構え」を必ず読んで、自身に必要なものを考え、入学の準備をしてください。この詳細は、合格通知書とともに送付します。

農 学 部

1. アドミッション・ポリシー

◆求める学生像

農学部では、生物生産、生物機能、生物環境等の学問分野において専門性及び技術を習得し、課題解決能力と国際的視野を併せ持つ人材を育成することを主眼とした教育を行っています。そのために、農学部では以下のような学生を求めています。

- ①生物生産、生物機能、生物環境等の農学関連分野に強い関心を有し、将来これらの分野で活躍を目指す意欲的な学生。
- ②農学部の教育・研究は、自然科学から社会科学にまで及ぶ広範な基礎科学と応用科学に立脚しているので、幅広い教養と専門的知識とともに修学できるバランス感覚を備えた学生。
- ③国際的に活躍する土台となる高度な語学能力を持ち、自己の語学能力の向上に熱心な学生。

◆求める学生像と学力3要素との関連

- ①知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。特に、大学での生物、化学、物理等の学習に必要な理系科目の十分な素養と基本的な英語力。
- ②思考力・判断力・表現力等の能力：多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝える資質。特に物事を理論的に把握する能力。
- ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：生物生産、生物機能、生物環境等の農学関連分野への強い関心。多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する寛容性。他人の意見を尊重しつつも積極的に議論する姿勢。

◆入学者選抜方法

求める学生像と学力3要素と入学者選抜方法との関係については、「選抜方法に関する別表」のとおりである。

選抜方法に関する別表

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
総合型選抜	大学入学共通テスト	小論文 個人面接	志望理由書 個人面接 調査書
次世代研究者 発掘入試Ⅰ	調査書 活動歴報告書・研究計画書	志望理由書 活動歴報告書 口頭試問	志望理由書 プレゼンテーション 口頭試問 調査書

国際型入試	大学入学共通テスト 統一試験 (EJU, SAT, GCE 等)	個人面接	志望理由書 個人面接
-------	--	------	---------------

2. 出願資格及び出願要件

次の出願資格のいずれかに該当する者で、下記の出願要件を満たし、次世代研究者発掘入試を実施する本学農学部のいずれかのコース、分野を第1志望とする者

○出願資格

- ア) 高等学校若しくは中等教育学校を令和7年(2025)年4月以降に卒業した者及び令和9(2027)年3月までに卒業見込みの者
- イ) 通常の課程による12年の学校教育を令和7年(2025)年4月以降に修了した者及び令和9(2027)年3月までに修了見込みの者
- ウ) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和7年(2025)年4月以降にこれに該当する者及び令和9(2027)年3月までにこれに該当する見込みの者

○出願要件

- ア) 高等学校又は中等教育学校等の高等学校に相当する期間において、以下の①～⑧に記載している項目に当てはまる顕著な活動実績を修めている者。(ただし、発表会やコンテスト等において、複数人で発表・研究した場合は、出願要件証明書に人数を記載してください。)
 - ① サイエンスカンファレンス(高校の部)発表
(グローバルサイエンスキャンパス(GSC)全国受講生研究発表会の出場者)
 - ② スーパーサイエンスハイスクール(SSH)生徒研究発表会(文部科学省等主催)の出場者
 - ③ 国際学生科学技術フェア(ISEF)の参加者
 - ④ 日本学生科学賞の中央最終審査に進出者
 - ⑤ 高校生・高専生科学技術チャレンジ(JSEC)最終審査進出となった者
 - ⑥ 国際科学オリンピック(数学オリンピック、物理オリンピック、化学オリンピック、生物学オリンピック等)において、日本代表として世界大会に出場した者
 - ⑦ 「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト(QFC-SP)」リサーチコース修了者(修了見込みの者を含む)
 - ⑧ 上記以外の自由研究や課題研究で①～⑦と同等の優れた発表を公的に証明できる者

※出願期間最終日(令和8年9月4日)までに⑦以外の発表会等に出場しておらず、出願要件証明書を提出できない場合は、出願できません。

- イ) 本コース及び本学部・学科が掲げるアドミッション・ポリシーで求める学生像に一致する者。
- ウ) 志望学部・学科における修学に加え「次世代博士人材育成コース」で学び、博士課程へ進学する強い志がある者

エ) 合格した場合に、必ず入学することを確約できる者

なお、出願資格及び出願要件について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係 (TEL : 092-802-2006) にお問い合わせください。

(注意)

- (1) 本選抜の趣旨から、本学の次世代研究者発掘入試、総合型選抜、学校推薦型選抜、及び国際入試 (教育学部) との併願は認めません。
- (2) 本学部の次世代研究者発掘入試 (総合型選抜) に出願した場合でも、本学を含む国公立大学の一般選抜に出願することができます。

3. 募集人員

若干名

4. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。

(1) 第1次選抜

- ア. 提出された調査書又は調査書に代わる書類、活動歴報告書・研究計画書及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。
- イ. 第1次選抜の結果は、令和8年(2026)年10月9日(金)頃に郵便で発送します。

(2) 第2次選抜

ア. 選抜方法

- ・第1次選抜の合格者に対し、プレゼンテーション、その内容等に関する口頭試問の総合評価により選抜を行います。
- ・知識、理解、能力、態度、志向性等を評価します。

イ. プレゼンテーション

- ・高大連携事業等の各種研究プログラムにおける研究実績を基にしたプレゼンテーションを受験者1人につき10分間行います。

プレゼンテーション資料はパワーポイントで作成し、活動歴報告書・研究計画書と併せて出願時に提出してください。試験当日はPCを使用せず口頭で発表してもらいますので、プレゼンテーション資料1部を参照用に持参してください(メモ等の書き込みは不可)。プレゼンテーション資料及び発表で使用可能な言語は日本語または英語とします。言語選択による有利不利(加点や減点)はありません。

ウ. 口頭試問

- ・プレゼンテーションの後に口頭試問を行います。口頭試問の時間は、受験者1人につき20分間です。

エ. 実施日時及び実施方法

期 日	時 間	実施方法
10月24日(土)	9:00~17:00頃	当日, 各人に通知します。

- ・集合時刻及び集合場所は第1次選抜合格通知の際に指定します。合格者は受験票及び第1次選抜合格通知書を持参の上, 指定された時刻に指定された場所に集合してください。
- ・試験時間中(9:00~17:00頃)は, 各自の面接試験終了まで外出できませんので各自必ず昼食をご用意ください。
- ・遅刻による試験室への入室制限時刻は, 予め定められた試験開始時刻から30分以内です。なお, 交通機関の事故またはやむを得ない事由により遅刻した者は, 試験監督者に申し出て下さい。

(3) 合否判定の基準

ア. 第1次選抜

提出された調査書又は調査書に代わる書類, 活動歴報告書・研究計画書, 志望理由書について評価し, 各評価を合わせて3段階(A・B・C)で総合評価します。

イ. 第2次選抜

プレゼンテーションと口頭試問を合わせて評価し, 第1次選抜の評価を加えて3段階(ABC)で総合評価します。

5. 研究コース分野

出願の際は, 以下の希望するコース, 分野を選択してください。

- (1) 生物資源生産科学コース(農学分野・生物生産環境工学分野・生物生産システム工学分野)
- (2) 地球森林科学コース(地球森林科学分野)
- (3) 動物生産科学コース(アニマルサイエンス分野・水産科学分野)

※指導可能な教員及び研究内容について, 次世代博士人材育成コース(<https://nextphd.mirai.kyushu-u.ac.jp/>)に掲載されています。出願に際して予め参照してください。

6. 提出が必要な出願書類等

新型コロナウイルス感染症の影響により, 学校での活動, 大会や資格・検定試験等の結果を記載できない場合, その活動に関する努力のプロセスを記載してください。

ア. 調査書

在学又は出身学校長が文部科学省で定めた様式により当該年度に作成し, 厳封したものを提出してください。なお, 調査書を提出できない者については, 次の書類を提出してください。

- ① 高等学校卒業程度認定試験合格者
合格成績証明書及び免除科目がある場合は学校長が発行した当該科目の成績証明書
- ② 出願資格に該当する者のうち上記①以外の者
修了（見込）証明書又は資格（取得見込）証明書及び成績証明書
また、本学において個別の入学資格審査を受けた者は、本学が交付した「九州大学受験資格認定書（写）」を添付してください。
上記書類を提出できない者は事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係へお問い合わせください。

イ. 活動歴報告書・研究計画書

高等学校在学中に取り組んだ研究活動や入学後に取り組みたい課題について、本学 Web サイト募集要項画面に掲載の様式に、自筆または PC 等で作成し、提出してください。

活動歴報告書については、農学部の志望理由書に関係ある事項に限定して記載してください。

ウ. 志望理由書

所定の様式に、志願者本人が自らの考えを基に作成し、自筆で作成したものを提出してください。

エ. 出願要件証明書（既卒生も含む）

出身学校長または記載責任者が、所定の様式に、自筆または PC 等で作成し、提出してください。

※10 ページ記載の 2. 出願資格及び出願要件のとおり、出願期間最終日（令和 8 年 9 月 4 日）までに⑦以外の発表会等に出場しておらず、出願要件証明書を提出できない場合は、出願できません。

*各様式は、本学 Web サイトの「入試・入学」→「学部入試」→「大学案内・入学者選抜概要・募集要項」からダウンロードしてください。必ず当該年度の様式を使用してください。

*志望理由書は、必ず志願者本人が自筆にて作成してください。志願者以外の者（生成系 AI ツールを含む）により作成したことが認められる場合や剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学許可を取り消すことがあります。

*提出された書類の返却には応じませんので、ご注意ください。

7. 入学準備

本学部の次世代研究者発掘入試 I（総合型選抜 I）に合格した者には、入学までに備えていただきたい勉強方法や心構えなどをまとめた「入学までの心構え」をお送りします。この「入学までの心構え」を必ず読んで、自身に必要なものを考え、入学の準備をしてください。この詳細は、合格通知書とともに送付します。

添 付 書 類

次のページから以下の書類が添付してあります。

【工学部】

- 活動歴報告書・研究計画書（様式1：6ページ（両面3枚））
- 志望理由書（様式2：3ページ（両面2枚））
- 出願要件証明書

【農学部】

- 活動歴報告書・研究計画書（様式1：6ページ（両面3枚））
- 志望理由書（様式2：3ページ（両面2枚））
- 出願要件証明書

- ※ 本様式を手書きで作成し、出願期間内に必着するよう郵送してください。
- ※ 必ず**令和9（2027）年度**の様式を使用してください。
- ※ 所定の様式を変更することはできません。（行の追加や用紙の追加等）
- ※ 摩擦等で消えるボールペンは使用できません。
- ※ 志願者以外の者（生成系 AI ツールを含む）により作成したことが認められる場合や剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を取り消すことがあります。

令和9（2027）年度 九州大学工学部
次世代研究者発掘入試 I

活動歴報告書・研究計画書

2026年 月 日記入

志望学科	志望コース・分野

ふりがな

志願者氏名

(西 暦) 年 月 日生

次の項目について、手書きまたはパソコン等を用いて記入してください。

1. これまでの研究活動

高等学校在学中に取り組んだ研究活動について、以下の内容を含めて記述してください
(図表等を含めてA4で3枚以内)。

- 活動を行おうとした動機
- 活動の具体的内容と自分の役割（複数人の場合）
- 得られた成果とその意義

2. 本コース入学後、どのような課題に取り組みたいのか、以下の内容を含めて、具体的に記述してください。(図表等を含めてA4で2枚以内)

- 課題の概要と背景
- その課題を重要と考える理由（社会的・学問的意義や高校までの活動との関連）
- その課題に取り組むための、学部ならびに大学院での学習・研究計画

※作成にあたっての注意事項

- ・所定のページ内であれば、文章だけでなく図面や数式等の記載可（図面はカラーも可）。
- ・パソコンにて作成する場合、フォントサイズは11pt以上、見やすさを考慮すること。

1. これまでの研究活動

高等学校在学中に取り組んだ研究活動について、以下の内容を含めて記述してください
(図表等を含めて A4 で 3 枚以内)。

- (a) 活動を行おうとした動機
- (b) 活動の具体的内容と自分の役割 (複数人の場合)
- (c) 得られた成果とその意義

概要版付

概要版付くぐり

概要版付くぐり

2. 本コース入学後、どのような課題に取り組みたいのか、以下の内容を含めて、具体的に記述してください。(図表等を含めてA4で2枚以内)

- (a) 課題の概要と背景
- (b) その課題を重要と考える理由(社会的・学問的意義や高校までの活動との関連)
- (c) その課題に取り組むための、学部ならびに大学院での学習・研究計画

概要版(1)

概要版付くぐり

令和9年度 九州大学 次世代研究者発掘入試 I (総合型選抜 I)

出願要件証明書

フリガナ 志願者氏名		
<p>出願資格及び出願要件記載の①～⑧について該当する項目をチェックしてください。複数ある場合には必ず複数チェックすること。</p> <p>また、研究タイトル及び受賞した入賞実績等を記載してください。</p> <p>なお、出願要件①～⑦に該当する場合は参加や進出を証明する資料（主催者等の公的立場の人物が示した書類かつ志願者本人の名前が含まれている）を添付すること。</p> <p>出願要件⑧に該当する場合には公的に証明する資料を提出すること。</p>		
<input type="checkbox"/>	①サイエンスカンファレンス（高校の部）発表 （グローバルサイエンスキャンパス（GSC）全国受講生研究発表会の出場者）	年度 出場
<input type="checkbox"/>	②スーパーサイエンスハイスクール（SSH） 生徒研究発表会（文部科学省等主催）の出席者	年度 出場
<input type="checkbox"/>	③国際学生科学技術フェア（ISEF）の参加者	年度 参加
<input type="checkbox"/>	④日本学生科学賞の中央最終審査進出者	年度 入選 年度 最終審査進出
<input type="checkbox"/>	⑤高校生・高専生科学技術チャレンジ（JSEC） 最終審査進出者	年度 最終審査進出
<input type="checkbox"/>	⑥国際科学オリンピック（数学、物理、化学、 生物学等）において、日本代表として世界大会 に出場した者	年度 出場
<input type="checkbox"/>	⑦「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト（QFC-SP） リサーチコース修了者（修了見込みの者を含む）	年度 修了（見込み）
<input type="checkbox"/>	⑧上記以外の自由研究や課題研究で①～⑦と同等の優れた発表を公的に証明できる者	
<p>研究タイトル：</p> <p>入賞実績等：</p> <p>（発表会・コンテスト・学会等に出場した場合、若しくは自由研究又は課題研究を行った場合は、その研究タイトルを記載してください。また入賞実績等を記載してください。）</p> <p>上記①～⑥及び⑧の発表会やコンテスト等において、複数人で発表・研究した場合は、実際の発表・研究の人数を記載してください。</p>		
人		

上記の者は、令和9年度九州大学次世代研究者発掘入試 I (総合型選抜 I) の出願要件を満たす者であることを証明する

令和 年 月 日

学校名

所在地

学校長名

印

令和9（2027）年度 九州大学農学部
次世代研究者発掘入試 I

活動歴報告書・研究計画書

2026年 月 日記入

志望コース	志望分野

ふりがな

志願者氏名

(西 暦) 年 月 日生

次の項目について、手書きまたはパソコン等を用いて記入してください。

1. これまでの研究活動

高等学校在学中に取り組んだ研究活動について、以下の内容を含めて記述してください
(図表等を含めて A4 で 3 枚以内)。

- 活動を行おうとした動機
- 活動の具体的内容と自分の役割 (複数人の場合)
- 得られた成果とその意義

2. 本コース入学後、どのような課題に取り組みたいのか、以下の内容を含めて、具体的に記述してください。(図表等を含めて A4 で 2 枚以内)

- 課題の概要と背景
- その課題を重要と考える理由 (社会的・学問的意義や高校までの活動との関連)
- その課題に取り組むための、学部ならびに大学院での学習・研究計画

1. これまでの研究活動

高等学校在学中に取り組んだ研究活動について、以下の内容を含めて記述してください
(図表等を含めて A4 で 3 枚以内)。

- (a) 活動を行おうとした動機
- (b) 活動の具体的内容と自分の役割 (複数人の場合)
- (c) 得られた成果とその意義

概要版付

概要版付くぐり

概要版付く

2. 本コース入学後、どのような課題に取り組みたいのか、以下の内容を含めて、具体的に記述してください。(図表等を含めてA4で2枚以内)

- (a) 課題の概要と背景
- (b) その課題を重要と考える理由(社会的・学問的意義や高校までの活動との関連)
- (c) その課題に取り組むための、学部ならびに大学院での学習・研究計画

概要版(付)

概要版付くぐり

令和9年度 九州大学 次世代研究者発掘入試 I (総合型選抜 I)

出願要件証明書

フリガナ 志願者氏名		
<p>出願資格及び出願要件記載の①～⑧について該当する項目をチェックしてください。複数ある場合には必ず複数チェックすること。</p> <p>また、研究タイトル及び受賞した入賞実績等を記載してください。</p> <p>なお、出願要件①～⑦に該当する場合は参加や進出を証明する資料（主催者等の公的立場の人物が示した書類かつ志願者本人の名前が含まれている）を添付すること。</p> <p>出願要件⑧に該当する場合には公的に証明する資料を提出すること。</p>		
<input type="checkbox"/>	①サイエンスカンファレンス（高校の部）発表 （グローバルサイエンスキャンパス（GSC）全国受講生研究発表会の出場者）	年度 出場
<input type="checkbox"/>	②スーパーサイエンスハイスクール（SSH） 生徒研究発表会（文部科学省等主催）の出席者	年度 出場
<input type="checkbox"/>	③国際学生科学技術フェア（ISEF）の参加者	年度 参加
<input type="checkbox"/>	④日本学生科学賞の中央最終審査進出者	年度 入選 年度 最終審査進出
<input type="checkbox"/>	⑤高校生・高専生科学技術チャレンジ（JSEC） 最終審査進出者	年度 最終審査進出
<input type="checkbox"/>	⑥国際科学オリンピック（数学、物理、化学、 生物学等）において、日本代表として世界大会 に出場した者	年度 出場
<input type="checkbox"/>	⑦「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト（QFC-SP） リサーチコース修了者（修了見込みの者を含む）	年度 修了（見込み）
<input type="checkbox"/>	⑧上記以外の自由研究や課題研究で①～⑦と同等の優れた発表を公的に証明できる者	
<p>研究タイトル：</p> <p>入賞実績等：</p> <p>（発表会・コンテスト・学会等に出場した場合、若しくは自由研究又は課題研究を行った場合は、その研究タイトルを記載してください。また入賞実績等を記載してください。）</p>		
<p>上記①～⑥及び⑧の発表会やコンテスト等において、複数人で発表・研究した場合は、実際の発表・研究の人数を記載してください。</p> <p style="text-align: right;">人</p>		

上記の者は、令和9年度九州大学次世代研究者発掘入試 I (総合型選抜 I) の出願要件を満たす者であることを証明する

令和 年 月 日

学校名

所在地

学校長名

印